臺灣日日新報　第一万五千二百三十四號　A　(一)
(夕二版)　昭和十七年八月三日（月曜日）　(明治一年五月九日第三種郵便物認可)

臺灣日日新報

本日四頁

金華西南方に新作戰

要衝○○に怒濤の進擊

【○○發電二日發同盟】第三戰區戰場の鬼と謳われた第二十九集團軍總司令官薛岳將軍の指揮する精鋭部隊は七月半ば贛湘鐵道上に於ける○○○○を目指し怒濤の如き進擊を開始した

【ベルリン二日發同盟】ベルリン電報によれば獨軍が奪取したヤチーチル（ウクライナ）の第一線陣地の一部

緬甸に新秩序建設

バーモ行政長官と問答

【ラングーン二日發同盟】一日ビルマ官廳發表に依る任命式終了後バーモ行政長官は同日、同三國同盟各國と特別天の如き一問一答を行つた

問　貴下の抱かれる施政方針如何

答　今の根本方針は一言で言へばビルマに嘗らしい秩序を建設することにについて說明に過ぎないであらう

一、現在日本が全力を擧げて呼びつつある、大東亞戰爭に勝つ為の協力を行ひビルマが文化あるゝ協力を行ひ大の四原に從がうことが出來る

二、ビルマが戰爭遂行を助け同時に東亞共榮圏の一翼としてビルマが全般的な發展をすることである

三、ビルマの經濟を再建し國民生活の安定を圖ること

四、半植民地的な諸關係を改めること

問　政治機構に關する說明如何

答　必要以上に複雜にすることは大東亞戰爭の目的に副はないから出來る丈け簡單にする

臺灣炭重要性加重

比島瓦斯事業に不可缺

現地軍の自給自足（一）

（上）OO鉱業所採炭作業、（左）石炭を運ぶ運搬船、（右）泥水に浸つて働く多くの苦力の姿も見られる

會社組織に改變か

木材組合の動向を見る

地方資金の融通

利率問題と今後の取扱

臺灣住宅營團資金

融通要綱決定發表さる

滯貨見事に解消

門司鐵道局に凱歌擧る

敵産特許の處理

日本技術の向上を期待

シトロネラ油

在庫品を賣却

ビール事業も南進

原住民生活に味覺の潤を與ふ

"高級飲料"の觀念脫却へ

公定價制を實施

中支農產物買收計畫成る

廣東の製糖二工場

省營から民間人經營へ、

臺灣の實情確認へ

奉銀頭取 水津彌吉氏

臺灣が進むべき道

臺北商議所會頭 木村泰治氏

臺灣の製氷需給順調

島內工場は大部分電化

經濟懇談會への要請

中央の認識を要請

臺拓社長 加藤恭平氏談

臺灣の實情確認へ

奉銀頭取 水津彌吉氏

精麥最高販賣價

農林省で告實施さる

買蕉價格を決定

蓬糖で奨勵規程を發表

製氷の需給順調

島內工場は大部分電化

中央公論

八月號・九十錢　改造社

改造

世界史の動向と日本

細川嘉六

山田財政

佐藤春夫

西亞を繞る諸問題

特輯

昭南島斷想

山本實彥

野村乃藏狂言綺談

土の教育

橋詰清を圍む地方座談會（新潟縣）

食料管理法實施の意義

四宮恭二・今中次麿・孫文

東亞經濟の構造的特質

杉本榮一

國家と言語

創作　現代史　丹羽文雄
小說　反魂丹　岩倉政治

英提督內爭事件

伊藤正德

日本文化の弘通

廣濱嘉雄

文化の生活的基礎

酒枝義旗

文化性と生存性

長谷川如是閑

家族結合と國民結合

柳田謙十郎

行政の總力的構造

大東亞の勤勞體制

服部英太郎

技術の革命

大東亞の言語政策

石黑良次

西鄉隆盛の立場

岡本清一

歲曲 町の音

久保田万太郎

中國新國民運動の理念と方向

特別寄稿　黃菩生　田中香苗

營團法の文化的意義

牧野英一

獨逸に於ける小實商問題　長岡隆一郎
明日の勤勞者文化　鈴木舜一
漁村の文化問題　船山信一
歷史的自信の復興　肥後和男
水戶學の現代的意義　塚本勝義

☆續戰場心理　平櫛孝
☆敵前渡河　柴田賢次郎
☆大鹽平八郎の愛刀　幸田成友
☆放射能禮讚　辰野隆

RRR ダイカスト機 水壓式 手動式
鑄造技術と原理
ダイカスト（金型鑄造法）は鑄造作業を簡易化し能率を増進し製品を精密ならしめ且つ互換性を與へる最も進歩した鑄造法であります。本書は我國ダイカスト機製造の元祖たる東京芝三田四國町二番の四　鈴木商會　三田電話高輪（四）一番が其の技術の全部を公開したものであります。
鑄込めば製品　新工作法　製造販賣（電話三田（四）一番）

神經痛 リウマチス 腰痛
宵の凝り サロメチール

◉清掃用具配給業者ニ告グ
各位ニ於カセラレテハ夙ニ御諒知ノ通リ家庭生活必需品タル清掃具ノ圓滑ナル配給ヲ期スル爲メ今般清掃具製造組合ヲ組織シ茲ニ清掃具株式會社ヲ設立シ一般需要者ニ對スル配給ノ一元化ヲ圖ルコトニ決定致シマシタ就テハ從來ノ取引關係ハ一切之ヲ解消シ本社ヨリ配給ヲ受ケラレ度此段御通知申上ケマス
追テ本社ノ組織並ニ配給ニ關スル詳細ハ追ツテ通知申上ケマス
昭和十七年七月　日
清掃具製造組合
清掃具株式會社

シドニー軍港深く潜入
軍事施設に巨弾の雨
濠洲奇襲鐵鯨奮戰記（下）

【ニューヨーク二日發同盟】○○發表によれば、シドニー攻撃に参加した日本潜水艦は五隻であり、その内一隻は撃沈されたが、他の四隻は無事帰還したと言明した、尚ほ撃沈された潜水艦の乗組員は全員捕虜となつたが、この中には艦長も含まれてゐる、尚ほ撃沈された潜水艦は、シドニー港内に於て撃沈されたものではなく、港外に於て撃沈されたものである、

【ニューヨーク二日發同盟】米国政府は二日午後に至るも、シドニー港内に於ける日本潜水艦の活動に関する詳細な報道を発表しない、これは米国政府が日本潜水艦の活動に関する詳細な報道を発表すれば、日本潜水艦の活動を援助することになるとの理由から

戰時學生の肚を練る
〝夏休〟利用文部省が計畫

初めての錬成を施すべく文部省では今夏の夏休を利用して全國中等學校以上の學生生徒に對し一齊に軍事教練を施すことゝなつたが、これは學生生徒の心身鍛錬のためのみならず、國防國家の一員としての自覺を深めしめ、戰時下學生生徒の使命を完遂せしめんとするにあるもので、文部省では學生生徒の錬成に關する具體的方案を目下研究中であるが、その概要は次の如くである

軍事教練に萬全
臺中師範生第五部隊で

【臺中電話】臺中師範學校では第一、第二、第五部隊に分ち五日間合宿教練を行ふことゝなつたが、第五部隊は七月三十日午後一時から八月四日午後五時まで